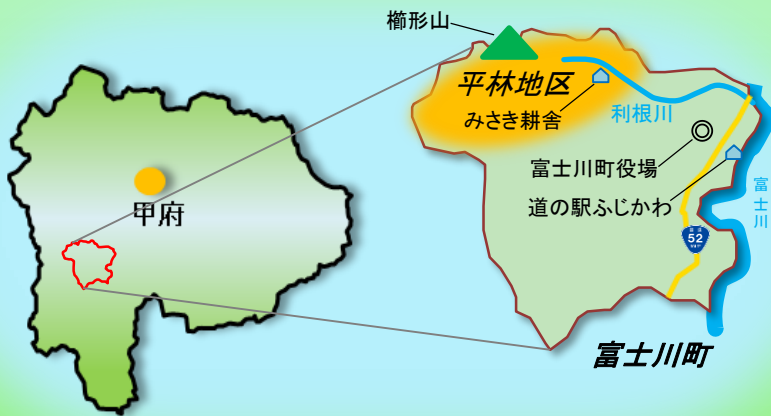


山梨県初指定棚田地域

富士川町 平林の棚田



平林地区より望む棚田・民家と富士山



富士川町 平林地区

富士川町は山梨県の南西部に位置し、富士川の右岸から楡形山の山麓にかけて広がる自然豊かな町です。町の市街地から西に向かい、利根川沿いの県道を車で上ること15分、深い山の中に突然現れる大きな集落が平林地区です。

この平林地区は、楡形山の麓、標高700〜800mに位置し、山の斜面に民家と棚田が広がる美しい農村地域であり、地区では富士山も同時に望めることから「富士山を眺める棚田の里」として人気のスポットにもなっています。



棚田オーナーによる田植えの様子と棚田の四季



指定棚田地域

指定棚田地域とは、勾配が5%以上の棚田が1ha以上ある地域の中から、申請に基づいて国が指定するものです。指定には、棚田の維持や地域振興に向けた活動を行う組織があることなど、一定の基準が設けられています。

令和3年2月、平林の棚田が県内で初めて指定をされました。

棚田での活動

棚田は美しい農村景観を創出する一方で、機械の導入が難しく、農家にとっては管理の難しい農地でもあります。このような理由から、平林では地区外に住む方々に棚田を貸し出し、新たな担い手として田植えや収穫を体験してもらう「棚田オーナー制度」を行っています。

また地域住民の組織によって、多面的機能支払交付金等の制度を活用しながら、石積みや農道の点検、補修等の棚田の保全活動が行われています。

多面的機能支払交付金とは？

多面的機能支払交付金は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援や、地域資源の適切な保全管理の推進のために活用されている交付金です。

平林の棚田では農地や水路、石積み、あぜなどの維持管理活動などに活用されています。



教育の場 生態系の創出
 農地が持つ 多面的な機能
 美しい景観 食料の生産
 洪水の防止

写真の「秋」バージョンのほかに、雪景色が広がる「冬」バージョンも用意されています

裏面には棚田に関する情報が書かれている「棚田カード」

カードホルダーとして使える「棚田めぐりガイド」



棚田カード

平林の棚田については、地域の情報がコンパクトにまとめられた「棚田カード」が作成されており、平林地区の交流拠点である「みさき耕舎」内の売店にて配布されています。

また、多面的機能支払交付金による保全活動や周辺の観光情報を紹介した、カードホルダーとして使える「棚田めぐりガイド」も作成されています。こちらは道の駅富士川情報コーナーと、富士川町役場産業振興課（本庁舎東別館）にて手に入れることができます。



多面的機能支払交付金を活用した石垣の修繕活動

新たな交流の場の創出

町では、平林地区に新たな農業体験宿泊施設を整備することを計画しています。平成27年に閉校になった旧増穂西小学校跡地を活用し、通年利用できる宿泊施設を整備することで、農村で栽培される農産物や四季折々の風景を、今まで以上に堪能できるようになります。

日本の原風景が広がる平林地区

